

いわみわ

行地集報
岩見編業
司令官 玄

昭和五十五年度

群隊務運営計画

決定

方針

群は常在する事態に

対処しつつ心勝の訓練

及び人生の充実を主軸

として精強な部隊を

練成する。

団長の方針を敷之んし

三本柱を明確に方針と

して打ち出して群の施

策は行なわぬ。

美幌市道除雪作業隊



第三三七施設中隊が担当し、主に南美幌一帯の市民生活道路の除雪に当たっている。

各除雪隊は、除雪 核中と住民の足の確保のため早朝から少人数でフル回転をして住民の理解と協力の上に行っている。作業であった。時には理解のない駐車などに悩み、又教諭の言葉に耳がたらず「住民としてもある自衛隊」の表着板になって各地の除雪に協力した。

○岩見市道除雪作業隊

第三三五施設中隊が担当し、既とん地周辺住宅地周辺の生活道路の確保に当り、最も銘組した作業区を担当しているだけに労苦

雪が大変なもので、路上駐車をし、能率が悪く下したりして、路の狭いことも多いといった有様だが、このほど無事任務を終了し、市役所より感謝をうけて原隊に復帰した。

○沢村道除雪作業隊



第三三六施設中隊が担当し、主に沢村南部の砂浜地区の通学生活道路の確保が任務であった。前回は例年作業基地となっていた砂浜を確保し、この地域はほとんどの人が自衛隊協力会前で親近感が強いところである。雪が降ると石浜平野の中央だけに道路は直ちに雪の原野となるだけに、作業隊は連日この雪と闘ってこのほど村民より感謝をうけて帰隊した。

○岩見市道除雪作業隊

このほか、岩見市道除雪隊、駐在所現場除雪隊、推の徳行場除雪作業支援などの多くの隊員

が天候を相手に連日果敢な闘いを続けていたが、例年になく遅い多い雪に大変な苦勞であったが、風林火山の旗のもと、除雪任務を終了し道民との一体化を図りつつ、そのお礼感謝をうけて原隊に復帰した。

○全スキー大会を支援



今年のスキーシーズン中、市内で実施された各種スキー大会は、八行事ほどあつて、おんとか救の山スキー場が実施された。この山のスキー大会は、群本部中隊が実施を一手に担当しており、大会に参加した全道各地の選手はじめ大会関係者から支援についで感謝をされている。

特に全行事の通信支援にあつた中川一曹以下の通信士等の真剣な態度と大会運営における功績は高く評価をうけていた。

転入者紹介

三月分

群本部 (名寄)

三佐 高因順一

同 (札地連)

一尉 谷藤弘

群本部中隊 (勝田)

二尉 木下芳春

第三三五施設中隊 (幌別)

三尉 藤島 修

同 (岩見沢)

一曹 大林 実

第三三六施設中隊 (福島)

三曹 高澤真一

第三三七施設中隊 (南恵庭)

三尉 相 木 義人

同 (札地連)

二曹 榎 秀勝

第三〇四中隊 (名寄)

一尉 山 本 進

同 (奈良地連)

一曹 原 田 昌俊

第三一二施設器機中隊 (古河)

三尉 越 雲 政男

同 (勝田)

三尉 大 橋 信 三

同 (滝ヶ原)

三曹 河 野 久 光

第三〇一地区施設隊 (南恵庭)

三佐 柳 沢 正 博

同 (真駒内)

二尉 十 倉 亨

同 (名寄)

一曹 青 藤 学

札地連岩見沢事務所 (岩見沢)

一尉 城 岡 芳 美

岩見沢調査隊 (札地連)

一尉 長 友 節 男

岩見沢駐屯地厚生科 (三宿)

松 元 孝 司

第六十一期幹部候補生

(三三七施中)

一曹 田 脇 明

(三三三施器中) 曹 俊 藤 博

「ラ」の春の節花

こよみの上では立春であつても

立春になつてかう、なんとなく寒

くなるのが岩見沢の春で、だから

あつてエリを立てたりする。

ぶさい雪が降つたりしたがこの雪も

例年より多い。もつすく

春かるとわかつていても、やつ

ぱり空を見る。しかしいくう空を

仰いでみるとには春はやつて来な

いのである。それまではたなつ

と辛抱することである。雪から

雨にと三寒四温のくり返して、そ

れまではたなつと辛抱すること

である。辛抱しなかつたのなら

ヤミコトを精一ばいにするこ

ある。甲子園では連日、熱戦が展

開され、大活躍の大優勝は高知

高に、もつ春はすくそこまで。色

づくつほみを仰いでその長い辛

忍耐の末に花がひらく。せつかく

この季節、準備に万全を期してい

守まつてヒカヒカの新生活

春の訪れとともに、車のスピ

ードアップさらに新入学生シーズ

と交通多発の危険がよすか、

▽特に新入学生(園)児を中」と

した子どもの交通事故の防止

▽自転車の安全利用の促進

▽スピードダウン運転の徹底

とシートベルト着用推進

▽安全管理の充実と安全運転

の確保を重点目標に春の交通安全

道民総ぐるみ運動が六日と十五日

までの十日間全道一斉に展開

される。無事故を祈ります。

編集後記

日 一曰と春の訪れを感じ

昨日、何かしらあつたかなくて、今

日まで来てしまひました。編集

にたれないため御迷惑をかけてい

ます。もしも新らしい企画とあ

つていきますのでよろしく

お願いいたします。

